

TRANSITION TO HEALTH (096)

“ 新型コロナウイルス感染 ② ”

～ “ 『コロナ・スキャンダル (コロナ詐欺)』 裁判 ” の行方 ② ～

ワクチンに殺される！？

『新型コロナワクチン(コミナティ筋注、ファイザー株式会社) 接種後に死亡として報告された事例の一覧 (令和3年2月17日から令和3年7月16日までの報告分) 』によると、死亡者751名中498名(66%)が一週間以内に死亡している。ワクチン接種との因果関係が無ければ、一日平均5名前後(751名÷150日:5か月)であるはず。翌日の148名の死亡は明らかに異常で、ワクチンが原因と考えるのが自然である。

免疫力の低下している高齢者や重い持病・基礎疾患を有する人は、ワクチンの添加物・アジュバント(あるいはスパイクタンパク本体?)の毒性に耐えられず、死期を早めてしまったと考えるのが自然であろう。TV局お抱え(?)のウイルス学の専門医が週刊誌で「想定内の(自然)死亡」とコメントしていたが、

「ワクチンで殺されている!」と考えざるを得ない状況ではないかと私思う。高齢者に多い「脳血管疾患」「心臓血管疾患」「基礎疾患の増悪・重症化」で亡くなれば、多くの不勉強な医師達は「ワクチン接種とは関係ないでしょう。たまたまです。」と判断してしまうのが、残念ながら普通であろう。実際には、報告されるべき死亡事例は5倍にも10倍にもなる

のかもしれない(個人的見解)。以前お話したが、元MLBのHank Aaron (Henry Louis Aaron)氏は接種後17日目に亡くなられた(86歳)。米CNNテレビの『LARRY KING LIVE』の司会を25年務めたLarry King氏は、新型コロナ感染症治療後の退院日にワクチンを接種したが、翌日、急死してしまった(87歳)。明らかに「ワクチンが原因だ」と消息筋は訴えているが「自然死」扱いである。現在、メディアは「ワクチンの効果で高齢者の感染者が減少している」と報じているが、本当であろうか。「感染したら重症化したであろう高齢者が、感染前にワクチン接種で亡くなっている」のではなかろうか?



Hank Aaron 氏



Larry King 氏

『新型コロナ詐欺』に関する裁判 (ニュルンベルク市) 2021年5月～ 続き

『the German Corona Investigative Committee (コロナ調査委員会)』の発起人弁護士のReiner Fuellmich (ライネ・フェルミッヒ)氏(右写真:ドイツ、カリフォルニア州弁護士)は、ドイツ銀行やVWなど大手企業の不正に対する裁判で勝訴した実績のある弁護士で、2020年10月から数百名の著名な科学者・経済学者・医学博士等々から具体的な証言を得て、「今回の『コロナウイルス・パンデミック』騒動は、超富裕層達が人類削減と人類の家畜化を目的としている」と結論づけた。彼が率いる弁護団がドイツ・カナダ・イギリス・アメリカなどで、パンデミック捏造に加担した勢力に対して集団訴訟を起こしている。



「数千人の超富裕層たちが政治家や医療関係者に賄賂をばら撒いて**パンデミック**を捏造し、一部の企業や財閥の**利権拡大**及び世界の**絶対主義支配**を目指している」という。超富裕層が私物化している国際機関や企業とは“WHO、国際経済フォーラム（ダボス会議）、**大手製薬会社**、金融機関、ハイテク会社”等で、その集団訴訟の1つが“**ニュルンベルク裁判**”である。

◆ コロナ・パンデミックの捏造疑惑・・・その不正行為・犯罪行為とは？

パンデミックを捏造したとして訴えられた彼らの行った不正行為・犯罪行為を要約すると、概ね次のようになる。

- ① SARS-CoV-2（新型コロナウイルス）の**存在を実証していない**。
SARSの変異型？ **架空のウイルス**？ インフルエンザの変異株！？
存在するパンデミックは「**コロナウイルス・パンデミック**」ではなく、
診断に使ってはいけない「**PCRテスト・パンデミック**」である！
また、ウイルスの**危険性を誤って評価**している（致死性のウイルスではない）。
- ② 「**コロナ対策**」により、人々を**パニック**に陥れ、新型コロナウイルスの存在を信じさせ、生命が危険にさらされていると信じ込ませて、**恐怖を煽った**。
これにより、製薬産業・ハイテク産業が莫大な利益を得ることになった。
- ③ **PCR** 検査の**陽性結果**（陽性者 ⇒ 感染者、偽陽性の存在を無視）だけを**根拠**にした対策により、**非合理的**で**限度を超えた措置**を行い、世界中の人々の健康生活と医療システムに**甚大な副次的被害**をもたらした。
- ④ 安全性**未確認**の遺伝子**ワクチン**を世界中の人々に接種している。（ワクチンメーカーに莫大な利益をもたらしている。）



ベルリン医科大学ウイルス研 所長 Christian Drosten 氏 WHO第8代事務局長 Tedros Adhanom Ghebreyesus 氏 FKI（ロベルト・コッホ研究所） 所長 Lothar H. Wieler 氏

- ① SARS-CoV-2の**実在の未証明** ウイルスの**危険性の誤評価**
- ② **PCR**検査誤使用による**パンデミック**の創出 ⇒ **恐怖を煽った**
- ③ **非合理的**な限度を超えた対策 生活・医療に対する**甚大な被害**
- ④ 安全性**未確認**遺伝子**ワクチン**の接種

◆ 集団訴訟に加わる一流の科学者・研究者たち

原告側の科学者には、**スタンフォード大学**の**ジョン・イオアニディス**教授（統計学・疫学の専門家）、同大学の**ノーベル化学賞**受賞者**マイケル・レヴィット**教授（生物物理学）のほか、ドイツの著名な教授らや世界中の多くの科学者・医師たちが名を連ねている。もちろん、世界最大の製薬会社の一つ**ファイザー**社の**元副社長**



スタンフォード大学教授 John P.A. Ioannidis 氏 スタンフォード大学教授 Michael Levitt 氏 スタンフォード大学教授 Scott Atlas 氏

兼最高科学責任者の**マイケル（マイク）・イードン**博士も含まれている（左下写真）。**イードン**博士が、**ヴォダーグ**博士と連



Dr. Wolfgang Wodarg Dr. Michael Yeadon

名で、EU 政府の欧州医薬品庁（EMA）に対して『**全ての新型コロナワクチンの研究（第Ⅲ相臨床試験）の中止**』を要求して、異議・申し立てを行なったことは、本通信 No.87（2020.12.28）でお伝えした。スタンフォード大学の**イオアニディス**教授は、以前より「インフルエンザワクチンには効果がないか、あるいは逆効果」つまり、「接種すればするほど感染し易く重症化しやすい」と主張しており、我々にとっては常識であるが、一般の日本人にはあまり知られていない事実である。2020年3月11日WHOが「**パンデミック宣言**」を発した時、**イオアニディス**教授は論文で『**大失敗**が進行中？』『百年に一度の**エビデンス無しの大失敗**』と論じていた。また、スタンフォード大学の**スコット・アトラス**教授は、CNNのインタビューに応じて、「“COVID-19を封じ込める”という誤った考えにより、保健・衛生分野に壊滅的な状況を作り出してしまった」と語っていた。

◆ パンデミックの定義を都合よく変えてきたWHO

「**09** パンデミック」の時、世界中の人々をパニックに陥れた超本人の一人が、今回訴えられているウイルス学者 Mr. **Drosten** であり、この**似非**パンデミックで深刻な事態を招く前に終止符を打ったのが、ドイツ連邦議会委員でヨーロッパ評議会の保健衛生委員会のメンバーであった**ヴォルフガング・ヴォダーグ**博士（前出）であった。残念ながら、今回の似非

世界的大流行 パンデミックの定義変更の変遷		
2009年以前	2009年（豚インフルエンザ）	2010年
① 新規病原体の出現 ② 世界的蔓延（拡散） ③ 重篤・高い致死率	① 新規病原体の出現 ② 世界的蔓延（拡散） 重篤でなくても、致死率が高くなってもよい。	新しい病気の世界的蔓延（単純化された） 新しい病気（病原体に限らない??） 重篤でなくても、致死率が高くなってもよいのか??
2009年の新型インフルエンザ（swine flu）の時、パンデミック宣言したものの、軽症で致死率は低く、パンデミックに至らなかった。WHO、ウイルス学者のDrosten氏らは、パンデミックの定義変更が必要と考え、2009年、2010年に定義を変更した。		ウイルス学者 Mr. Christian Drosten が関与

パンデミックには、まだ終止符が打たれていない。**WHO**と **Drosten** 氏は、2009年の失敗の後、最終的にパンデミックの定義を「a pandemic = a disease that spread **worldwide** and which led to many **serious illness and deaths**」から「a pandemic = a **worldwide** disease」に、「**世界的に広がり**、多くの**重篤な病態**や**死**に至る病気」から「世界的に広がる病気」に変更した。重篤でなくても、死に至らなくても、世界的な蔓延が危惧されれば、宣言できるようになってしまった。

◆ 「**PCR検査：無意味**」を**法廷が立証し始めている** ポルトガル、オーストラリア、スペイン、カナダなどでは、裁判で「新型コロナの**PCR** 検査は科学的な観点からみて『**ナンセンス**』である」という正式な判決が既に出ている。

最後に ワクチンを接種するか否かは、**自分自身**で決めましょう。 **基礎疾患**を持たれている方はより**慎重な判断**を！